

## あなたを(今でも)...

## 忘れない

このタイトルは、「シラン」の花言葉です。何となくロマンチックですよね。ランの仲間の花が紫色なので、漢字では「紫蘭」と書きます。

一般的に「ラン栽培は難しい」といわれますが、シランはとても丈夫で育てやすい草花なのです。陶史の森は湿地が多くて日当たりも良く、シランの生育に適しています。徐々に増えて可憐な紫色の花で私たちの目を楽しませてくれることでしょう。花を咲かせる時期は通常4～5月ですが、陶史の森は市街地と比べると気温が低いせいなのか、例年5月中下旬～6月初中旬ごろに咲きます。

ところで、気象庁は「これまでに経験したことがないような〇〇」という表現で特別警戒情報を発表するようになりました。最近では、2月の大雪や4月半ばの夏日など、四季の移り変わりがよく分からなくなってきていますので、昨年までのような時期に花を付けるかどうか不明なところがあります。「以前は…」とか「例年は…」という表現や感覚は、捨てなければならぬのでしょうか。街でばったり会った懐かしい人に「あなたを(今でも)…」と声を掛けたら「知らん!」と言われるかもしれません。過去にとらわれ過ぎずに、豊かな自然を大切にしながら現実を踏まえ、明るい未来を築いていきましょう。



森	の
日	記

## 芝生広場でお花見

4月14日(月)

朝は寒かったのですが、日が昇るにつれて気温も上昇し、爽やかな快晴となりました。

時々、陶史の森へやってくる、子育て真っ最中のママさんグループが満開の桜の下の芝生広場に集結しました。

親子で楽しく「お歌」を歌ったり、「指遊び」をしたり、芝生の上で寝転がったり、お弁当やお菓子を食べたりするなど、陶史の森に元気な子どもたちの歓声が響き渡りました。



## 春の遠足

4月16日(水)

この日の最高気温は、22.5℃と汗ばむほどの上天気となりました。“ちびっ子広場”は、春の遠足で訪れた下石小学校の元気な子どもたちの声でにぎわいました。4年生約70人が、船形アスレチックやローラー滑り台などで遊びながら、仲間づくりをしていました。



また、6年生約90人も一休みした後、駄知町の杉焼公園に向けて元気よく歩いていきました。

## 教室のご案内

## 6月

ミツバチ教室 (要申込・定員120人※)

6月15日(日) 午前9時～11時30分

蜂蜜搾り体験をし、その蜂蜜を味わいます。

※既に定員に達しましたが、見学は可能です。

バードウォッチング (自由参加、雨天中止)

6月22日(日) 午前9時～11時30分

初夏の野鳥を観察します。

## 7月

草花標本づくり教室 (自由参加)

7月6日(日) 午前9時～11時30分

植物を採集・観察して標本を作ります。

バードウォッチング (自由参加、雨天中止)

7月27日(日) 午前9時～11時30分

夏の野鳥を観察します。

